

# 境港ライオンズクラブ会報

## 会長スローガン

『和を深め、笑顔で広げる奉仕の輪』



模擬店、バザー、交流企画、特設ステージ、即売コーナーなどがあり、境港ライオンズクラブはラムネ、ジュースの販売で出店しました。

永見会長の発案でヨーヨー釣りをオマケにつけたところ、それが好評で順番待ちの行列が出来るほどの盛り上がりで、

11時30分までに

## 第35回 境港市福祉文化祭

### 「いきいき浜っこ祭」

9月20(日)爽やかな秋晴れの中、夕日ヶ丘メモリアルパークにて「第35回いきいき浜っこ祭(境港市社会福祉協議会主催)」が開催されました。

当日は好天にめぐまれ、32の参加団体、約2,500人の来場者(事務局発表)が



オマケが大受け

あり、障害のある方、家族連れ、一般の方等、数多くの市民で賑わっていました。

完売となり、お子さんをはじめ、多くの方に楽しんでいただきました。

また、連休中のさなかにもかかわらず、当日準備はもちろん、前日からテント張り、会場設営等、ご協力頂きました各会員様ありがとうございました。

(千歳環境保全委員長)



前日設営の皆さん

## 「いきいき浜っこ祭」写真続き



千歳委員長



ラムネ売り



ヨーヨー作り



開店前の集合写真

## 地区ガバナー公式訪問合同例会



9月15日 336 B地区 8R-1Z、2Z  
ガバナー公式訪問例会がホテルサンルート  
米子にて開催されました。

合同例会に先立ちガバナー懇談会が開催  
され、尾崎博ガバナーからは国際会長の活  
動方針の説明を受けました。今年度は特に  
国際協会 100周年に向けての会員増強に力  
を入れて取り組む方針で「100周年会員増

強チャレンジ」として現在約12万人の日  
本LC会員を20万人に増やす計画で、女  
性会員と家族会員の増強を図るとのこと  
です。現在8R10クラブの状況は、女性会  
員増強に取り組んでいるクラブが4、検討  
中5、予定無し1。また家族会員増強は、  
取り組んでいるが1、検討中3、予定無し  
6ということです。目標達成のためにはま  
だまだハードルが高い状況のようです。1  
0クラブの会員数では我がクラブは最多  
ですが、今後も、女性会員も含め会員拡大  
にご協力をお願いしたいと思います。

また、キャビネットへの質問・要望では  
LCIFなどの支援金、協力金の負担が増  
えてきている事への疑問、その用途を明確  
にしてほしいとの意見があり、LCIFは  
あくまで任意であること、用途については  
HPに掲載してあるとのことでした。

合同例会には沢山のメンバーの出席を  
いただきありがとうございました。

(永見会長)

## 9月第1例会(9月2日)より

## 「境港警察署員による講演とア ンケートの実施」



川崎様

「道路交通法改正による  
自転車運転について」  
交通課の川崎文裕氏  
による標記の講演があ  
り、自転車の交通ルー  
ルについては全国的に  
問題になっていること

から、「自転車は道路(車道)のどの部分  
を走る?」、「自転車が歩道を走れるのは  
どんなとき」など、違反した場合の罰金等  
を含め曖昧な点を中心に説明をされまし

た。また最後に、境港警察署管内の交通事故発生状況（平成 27 年 1 月～ 8 月現在）について説明があり、昨年度に比較し減少傾向にあるものの、まだまだ事故件数としては多いことから、お互いに交通事故を起こさないように十分注意しましょう、とのことでした。

自転車の交通ルールについては、まだまだ徹底されていない様なので、我々が車を運転する時は自転車の動きには十分気をつけて運行する必要があり、併せて歩行者にも十分注意して運転しましょう。その際、『防犯パトロール実施中』のステッカーを必ず車に貼付しましょう。

### アンケートの実施

生活安全刑事課の西尾聖氏から、本年 6 月 24 日風営法の一部改正の公布に伴い、鳥取県の風営法施行条例を改正する必要があることから、風俗営業の時間延長許容地域における風俗営業時間の緩和 この度新設された特定遊興飲食店営業の特定許容地域の選定等ゲームセンターへの年少者の立入規制の見直し、等について検討中であり県民の意見を参考にしたいとの依頼によりアンケートに協力しました。



西尾様

## 9 月第 2 例会 (9 月 16 日) より 月見家族例会



9 月第 2 例会は月見家族例会として開催

しました。当初「肉道楽いろは」の屋上で実施予定でしたが、雨天のため室内で実施しました。会員 38 人、家族 9 人の参加で大いに盛り上がりました。

恒例の川柳大会があり L・遠藤恵裕審査委員長による楽しい第一次選考の結果は何処へやら、10 人が表彰されましたが、上位 4 人を紹介します。



照れるなあ

1 位：「見上げては 又  
いっこんと くみかわ  
す」永見香澄さん

2 位：「月見れば 夫の  
笑顔 思うかな」菊地  
美恵さん

3 位：「ライ  
オンズ 二人元気で 月見会」三本松悦子  
さん

4 位：「美しい 姿を見たい かぐ  
や姫」L・千歳茂樹（au のコマーシャルを見て夢みているのとちゃうか？）

## Dr むすびの一番の健康メモ

### 第 4 回

### 「驚異の腸内フローラ その 3」



### 『実際の医療現場で腸内フ ローラが活躍！』

今この腸内フローラが医学の世界に革命を起こしているそうで腸内フローラの秘められたパワーが実際の治療に生かされ始めている。

### 『糖尿病を腸内フローラで改善』

アメリカ政府が支援するベンチャー企業の研究室。ここでは腸内フローラで糖尿病を治すという全く新しいタイプの薬を開発している。糖尿病は血糖値の調節に欠かせないインスリンが出にくくなる病気だ。その原因として腸内細菌が作る短鎖脂肪酸が関係している事が分かってきた。短鎖脂肪

酸の量が減るとインスリンの分泌も減ってしまう。それではその短鎖脂肪酸を増やすにはどうすればよいのか。この企業では短鎖脂肪酸を作る細菌を増やそうと考え、菌を増やす効果があるポリフェノール（ブルーベリー由来）と食物繊維（穀物由来）などの成分を配合して薬を開発し臨床試験を行った。試験を行ったのはルイジアナ州州立大学の糖尿病の専門医フランク・グリーンウェイさんで、彼は糖尿病の研究でアメリカをリードする1人である。フランク医師は患者にこの薬を飲んでもらい腸の中で短鎖脂肪酸を作る菌を増やす。2週間後、食事のあとのインスリン量の変化を見たところ、菌を増やす薬をのんだ人は食後のインスリンが出やすくなっていた。こうして腸内フローラの力を利用して糖尿病を改善できる事が分かったのだ。フランク医師は次のように述べている。

「医学は進歩してきましたが、いまだに糖尿病を克服するには至っていない。腸内フローラを変えるとという全く新しい方法を見つけた事で糖尿病治療は大きく進歩する事でしょう。」

#### 『腸内フローラで癌予防』

人類の大敵がんの予防に腸内フローラを役立てようとする取り組みも始まっている。がん研究会有明病院では患者や健康診断に来た人から便を集め、腸内フローラを調べるプロジェクトを始めた。プロジェクトのリーダーの原英二博士はがんを引き起こす腸内細菌を見つけた。遺伝子解析の結果新種である事が分かり、アリアケ菌と名付けた。アリアケ菌が出す物質 DCA、これががんの原因となる。アリアケ菌が出す物質 DCA は人の細胞に作用して細胞老化を引き起こし、その老化した細胞は発がん物質をまき散らし周囲にがんを作る。この研究は科学雑誌「サイエンス」で年間の最重要項目の一つにも取り上げられ世界中の

注目を集めた。更に原博士は肥満になるとアリアケ菌が大幅に増える事も突き止めた。これは肥満ががんに関係している事を示す重要な発見である。原博士は「腸内細菌をコントロールする事で、がん予防が可能になってくるんじゃないかと期待している」と話している。

#### LCIFのホームページより

LCIF は地域、国、国際レベルで他の財団や企業、政府機関との効果的なパートナーシップを通じて受け取った寄付金を活用しています。LCIF が 2007 年のフィナンシャル・タイムズの独立調査で提携相手として世界ナンバーワンの NGO（非政府組織）に選ばれたことは、名誉なことです。

（注）イギリスの経済誌フィナンシャル・タイムズの格付け。NGO や国際機関と関係を持つ 445 の企業が、34 の国際組織を査定した結果である。ちなみにユネスコ 13 位、ユニセフ 18 位とのこと。

#### 編集後記

暑い夏があっという間に過ぎて、これから残暑かな？と思いきや、朝晩過ごしやすくなり、実質秋に突入してしまった今日この頃、コップを手を持つ時間が多くなってきていることとお喜び申し上げます。

とは言うものの、お医者様から「要注意」「要医療」等の指示をいただいております方は、薬を飲むためのコップを持つ機会をできるだけ少なくできるように、控えめにこの秋を過ごしましょう。

発行	境港ライオンズクラブ
編集	PR・会報委員会
責任者	菊地 英夫
事務局	〒 684-8686
	境港市上道町 3002 境港商工会議所内
☎	0859-44-5477 FAX 0859-44-2313